

講義名	N C Uラーニング・コンパス
担当教員	山田 勉、高石 鉄雄
学年	1年
キャンパス区分	滝子
開講学期	前期
曜日・時限	火1
講義室	2-404
科目種別	講義
授業の目的・目標	<p>新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵攻など、世界を取り巻く情勢は大きく変化しています。このように不確実性が高く将来の予測が困難な時代には、「何を知っているか」ではなく、知識を活用して現実に「何ができるか」が鋭く問われます。</p> <p>本学では、そうした背景から、「学ぶもの一人ひとりが個性を認識し、人生の様々な局面において自ら活路を見出すための思考基盤となる教養」、あるいは「次世代をリードできるバランス感覚に優れた人材」「上質かつ豊かな感性で社会と向き合うことのできる能力」という高次の教育目標を、「名古屋市立大学憲章」に掲げています。</p> <p>これらの目標は、いずれも、現実世界の課題に対して、知識、スキル、態度・価値観などを結集させて取り組むための能力であり、資質・能力（コンピテンシー）などの名称で、多くの国が育成に取り組んでいます。</p> <p>この授業では、資質・能力（コンピテンシー）とは何かを理解し、それを身につけるためには、本学において何を・どのように深く学習し、行動すれば良いのか、その方向性を示すラーニング・コンパス（学びの羅針盤）を手に入れることを目標とします。</p>
ディプロマ・ポリシーとの関連	学士基礎力、使命感、知識・理解、視点・視野、姿勢・行動力
キーワード	資質・能力、コンピテンシー、深い理解・学習・関与、問題発見・解決能力
遠隔授業科目	遠隔授業科目（全開講回数の半数以上を遠隔授業で実施する科目）
学修到達目標	<p>（1）高校と大学における学びの違いは、概念による一般化にあることを、資質・能力を身につける観点から、理解している。</p> <p>（2）大学における学びを実践するための多様な学習方略（Learning Strategy）を理解し、それを意欲的に活用する姿勢を身につけている。</p> <p>（3）ある問題に対して、他者と対話しながら、根拠（事実・データと論拠）をもって主張を組み立て、結論を導く姿勢とそのための知識を身につけている。</p>
授業概要	<p>第1回授業はオリエンテーションです。（この科目独自のアンケートに回答してから、受講することが必要です。）オリエンテーションでは、資質・能力（コンピテンシー）の重要性と有効性を理解し、成績評価基準・方法と授業の概略について説明を受けます。</p> <p>続いて、それぞれ3回のオンデマンド学習とグループ討議に交互に取り組みます。</p> <p>オンデマンド学習の内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使える知識・スキルにするためにはどのような理解が必要か</li> <li>・自分の学習を調整するためにどのような学習方略を用いれば良いのか</li> <li>・興味と関心を持って大学の授業を受講しつつ、自分のやりがいを見つけるにはどうすれば良いのか</li> </ul> <p>の3つです。また、各回のオンデマンド授業の翌週にあるグループ討議（対面授業）のポイントについても、毎回説明を受けます。</p> <p>グループ討議では、より優れた問題解決に達するには、どのように話し合えば良いのかを、「主張と根拠」「建設的対話」「リーダーシップの共有」の順に、段階的に学びます。</p> <p>授業まとめでは、この授業全体を振り返り、もう一度、この科目独自のアンケートに回答します。</p>

授業計画	<p>対面授業およびMicrosoft Teamsを活用した【オンデマンド学習】（動画視聴＋課題提出）によって構成します。</p> <p>(1) オリエンテーション  (2) 講義—深い理解【オンデマンド学習】  (3) 討議—主張と根拠  (4) 講義—深い学習【オンデマンド学習】  (5) 討議—建設的対話  (6) 講義—深い関与【オンデマンド学習】  (7) 討議—リーダーシップの共有  (8) 授業まとめ</p>
授業時間外の学修（準備学習を含む）	<p>オンデマンド学習では、動画視聴後または課題提出後に、Microsoft Teams所定のチャンネルに質問を投稿して、担当教員から回答を受け、受講者全員でそれを共有して相互に意見交換を行うことができます。</p> <p>授業レジメのほか、参考文献を随時紹介しますので、各自の興味に沿って予復習を行ったうえで、授業に参加してください。</p>
成績評価基準	<p>受講姿勢・態度における積極性、他者の尊重、考える態度、およびグループ討議への参加姿勢を考慮のうえ、提出された課題の成績によって、学修到達目標の達成度を、①授業内容を「概念」的に理解している、②その「一般化」された内容を新しい状況に適用できる、の二点を基準として評価します。</p>
成績評価方法-1列-1行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講姿勢・態度（40%）：対面授業に積極的に参加し、他者を尊重のうえ、考える態度を示していること（※ 私語、居眠り、遅刻、欠席については減点の対象とします）。オンデマンド学習では、動画を視聴し課題を期限までに提出していること。</li> <li>・グループ討議（15%）：より優れた問題解決に達するには、どのように話し合えば良いのかを意識しながら、討議に積極的に参加していること。</li> <li>・課題成績（45%）：オンデマンド学習後に提出された課題の成績を累積加算します。</li> </ul>
教科書・テキスト	特にありません。
参考文献	授業時間中に指示します。
履修要件	特にありません。
履修上の注意事項	<p>本科目は、必修科目です。進級や卒業のために必ず履修し、単位を修得しなければなりません。</p> <p>グループ討議を含む対面授業後、当日中に、討議に関する自己評価や授業で特に印象に残ったことなどを、Microsoft Teams所定のチャンネルに入力する必要があります。入力がなければ加点されません。</p> <p>情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）とアプリケーション（Microsoft Teams）に習熟してください。</p>
履修者への要望事項	目標を設定し、結果を予期し、行為し、振り返る習慣をつけること。自分自身の価値観を選択し形成していくこと。
アクティブ・ラーニング	対面授業やオンデマンド学習によって理解した内容を自分の「道具」とするためには、実際にやってみることが必要です。ただし、一人では難しいときもあるので、理解を深めるためのグループ討議があります。ぜひ積極的に活用してください。
連絡先・オフィスアワー	<p>日 時：火曜日13:00-14:30（4/16～6/6）  金曜日13:00-14:30（6/12～8/2）</p> <p>場 所：1号館5階 山田研究室</p> <p>※必ずメールで前日までにアポイントメントを取る（要：件名、学番、氏名、要件）</p>
備考	理解度や進捗に応じ、順番を入れ替える場合がある。
関連URL	特になし